

令和 4 年度

「運営に関する計画」

大阪市立東生野中学校

1 学校運営の中期目標

現状と課題

校内は、落ち着いた雰囲気です授業や学校行事ができています。令和3年度も、コロナ禍の中、例年とは違う様々な対応があったが、修学旅行、運動会などの大きな行事を通じて、よりよい学級・学年集団を作りあげることができている。

＜学校教育アンケート結果等＞【数字はR3年度の結果】

「東生野中学校にきてよかったと思っている」に対する肯定的な回答の割合は、85であり、また、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対する肯定的な回答の割合は83であり、肯定的回答の割合は高い。

一方、「宿題以外にも家での勉強をしている」の肯定的な回答の割合は、56であり、低い。学習意欲の向上、家庭学習の実行が喫緊の課題である。また、全国学力・学習状況調査では、全国平均を100とした時の結果が、R1国96、数97、R3国95、数94と全国平均には到達していない。そのため、令和4年度より、学校元気アップ地域本部事業とも連携し、学校図書館の積極的な活用だけでなく、放課後学習会を実施し、読書活動の充実に取り組むだけでなく、自学自習の勉強の場を提供し、学力向上をはかっていきたい。また、今年度もボランティアによる講師を招き、HSL（Higashi ikuno Saturday Learning）を開催し、学力の底上げを図っていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（中学校）

- ・ 令和 7 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 93%以上にする。R3 89
- ・ 令和 7 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。R3 4.8%
- ・ 令和 7 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。R3 1.2%増

学校の目標

- ・ 令和 7 年度末の学校教育アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を 98%にする。R3 96.0
- ・ 令和 7 年度末の学校教育アンケート「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を 85%にする。R3 77.0

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（中学校）

- ・ 令和 7 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 50%以上にする。R3 37
- ・ 令和 7 年度末の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。
R3 1 年国 0.91 数 0.88 2 年国 0.89 数 0.90 3 年国 0.92 数 0.79
- ・ 令和 7 年度末の大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 55%以上にする。R3 43.8
- ・ 令和 7 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 58%以上にする。R3 54（2 年生）

学校の目標

- ・ 令和 7 年度末の学校教育アンケート「朝食を毎日食べていますか」の肯定的な回答をする生徒の割合を 95%にする。R3 90.0

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（中学校）

- ・ 令和 7 年度末の学校教育アンケート「先生は、ICT の活用をしている。」の肯定的な回答をする生徒の割合を 100%にする。R2 91.6 R3 94.5
- ・ 令和 7 年度末の年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 70%以上にする。（10 日以下 15 人/32 人 22.2/21 現在）

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（中学校）

- ・ 令和4年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。R3 89 R4 83
- ・ 令和4年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。R3 4.8% R4 9.4% (2/7 現在)
- ・ 令和4年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。R3 1.2%増 R4 6.4% (2/7 現在)

学校の年度目標

- ・ 令和4年度末の学校教育アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を96.5%にする。R3 96.0 R4 97
- ・ 令和4年度末の学校教育アンケート「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を79%にする。R3 77.0 R4 77

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（中学校）

- ・ 令和4年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を40%以上にする。R3 37 R4 40
- ・ 令和4年度末の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.5ポイント向上させる。R3 1年国0.91 数0.88 2年国0.89 数0.90 3年国0.92 数0.79
R4 1年国0.88 数0.79 2年国0.91 数0.89 3年国0.90 数0.90
- ・ 令和4年度末の大阪市英語力調査におけるC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を45%以上にする。
R3 43.8 R4 49.5
- ・ 令和4年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を55%以上にする。R3 54（2年生） R4 60

学校の年度目標

- ・ 令和4年度末の学校教育アンケート「朝食を毎日食べていますか」の肯定的な回答をする生徒の割合を95%にする。R3 90.0 R4 84

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（中学校）

- ・ 令和4年度末の学校教育アンケート「先生は、ICTの活用をしている。」の肯定的な回答をする生徒の割合を95%にする。R2 91.6 R3 94.5 R4 93
- ・ 令和4年度末の年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする。2/6 現在 17人/31人(54.8%)

3 本年度の自己評価結果の総括

目標達成できた項目が6つ、できなかった項目が6つだった。

できてなかった項目についても、若干届かなかったものがほとんどであり、目標設定が高すぎたとも思われる。

校内において、落ち着いた雰囲気です授業や学校行事ができています。今年度も、コロナ禍の中ではあったが、修学旅行、運動会、文化祭などの大きな行事を通じて、よりよい学級・学年集団を作りあげることができている。

学級・学年集団の育成は、全ての教育活動の基盤であり、確かな学力の確立やいじめをうまない集団作りの土台となる。このことを全教職員で再度共通理解し、生徒の自尊感情を高める支援と人権・道徳教育の充実、組織（チーム）としての問題解決力の強化、そして、すべての子ども達が「わかる」「できる」を実現していくためのICT教育の充実等、基礎基本定着のためのきめ細かな個別の指導等に来年度も継続して取り組んでいきたい。

大阪市立東生野中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【安全・安心な教育の推進】 全市共通目標（中学校） <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。R3 89 R4 83 令和4年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。R3 4.8% R4 9.4%(2/7 現在) 令和4年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。R3 1.2%増 R4 6.4%(2/7 現在) 学校の年度目標 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度末の学校教育アンケート「学校のきまり・規則を守っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を96.5%にする。R3 96.0 R4 97 令和4年度末の学校教育アンケート「将来の夢や目標を持っていますか」の肯定的な回答する生徒の割合を79%にする。R3 77.0 R4 77 	C

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策 1-1 いじめへの対応、1-2 不登校への対応、1-3 問題行動への対応】 日頃から教職員のネットワークを充実するよう心がけ、定期的な相談活動を重視し、問題行動の早期発見、早期解決に努める。自他の尊厳を認め合い、好ましい人間関係、信頼関係、集団作りに努める。	B
指標 学期に1回の相談活動、いじめアンケート調査に取り組み、問題解決を図る。また、月1回の職員連絡会で不登校についての情報交換を実施する。	
年度目標の達成状況や取組の結果と分析 いじめへの対応について、学期に一回のいじめアンケート、教育相談の実施と校則や問題行動への対応を徹底することにより、安心安全な学校づくりを進められている。月1回の職員連絡会で不登校についての情報交換を実施し、不登校生に対し、ていねいに対応している。	
次年度への改善点 来年度も継続して、実施し、生徒が安全安心な学校生活を送ることができるようにしていく。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容②【施策 1-6 安全教育の推進、2-3 人権を尊重する教育の創造、2-5 多文化共生教育の推進】</p> <p>学校全体の学習活動の中で、基本的な生活習慣を育て、あいさつ・美化意識の継続に努める。そして、仲間を思いやる心を構築し、違いを認めあう個性尊重の集団を育成する。特に、国際理解教育（外国人教育）のより一層の推進を図る。また、本校に設置している夜間学級との交流を深化充実する。</p> <hr/> <p>指標 大掃除を学期に 1 回、各学年で生徒の実態にあった多文化共生教育を年 1 回実施する。夜間学級との交流を年 1 回実施する。</p>	B
年度目標の達成状況や取組の結果と分析	
<p>生徒会活動、クラブ活動ともに、充実した活動を行った。生徒会活動では、毎朝のあいさつ運動、4 ブロックの生徒会交流会への参加など、活発な活動がみられる。その中で、スマホの扱い方について、本校全体での取り組みを進めるなど、生活習慣の改善や規範意識の育成を進めた。美化意識については、学期に 1 回の大掃除はもとより、日々の清掃にも力を入れ、実施した。1.2 学年で生徒の実態にあった多文化共生教育を年 1 回実施した。3 年生は、2 月末に実施する予定である。</p>	
次年度への改善点	
次年度も継続して実施していく。	

大阪市立東生野中学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を 40%以上にする。 R3 37 R4 40 令和 4 年度末の中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.5 ポイント向上させる。 R3 1 年国 0.91 数 0.88 2 年国 0.89 数 0.90 3 年国 0.92 数 0.79 R4 1 年国 0.88 数 0.79 2 年国 0.91 数 0.89 3 年国 0.90 数 0.90 令和 4 年度末の大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）を 45%以上にする。 R3 43.8 R4 49.5 令和 4 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポー 	B

ツをすることは好きですか」に 対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を 55%以上にする。 R3 54 (2 年生) R4 60		
学校の目標		
・令和 4 年度末の学校教育アンケート「朝食を毎日食べていますか」の肯定的な回答をする生徒の割合を 95%にする。 R3 90.0 R4 84		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況	
取組内容①【施策 4-1 言語活動・理数教育の充実】 全ての教科の基礎である、読解力向上を図るため、「YOMU 読むワークシートを」朝学活で活用する。 ----- 指標 年間 30 回実施する。	B	
年度目標の達成状況や取組の結果と分析		
2/8 現在、後期 15 回分を実施できている。したがって、年間 30 回分を実施することができた。生徒の感想には「読解問題ができるようになってきて、うれしい」「文章を読むのが前より楽しくなった」「自分が知らないことを学びながら考えることが楽しかった」があった。		
次年度への改善点		
来年度予算が確保できれば、来年度も実施していく予定である。		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況	
取組内容②【施策 4-2 主体的・対話的で深い学びの推進】 主体的・対話的で深い学びの推進、ICT 機器の活用を推進し、学力向上を図る。 ----- 指標 各教員が年間 1 回以上の授業研究と相互参観の実施を実施する。	B	
年度目標の達成状況や取組の結果と分析		
各教員の年間 1 回以上の授業研究と相互参観の実施について、6/9, 9/9, 10/7 に実施した。また、ICT 機器の活用については、市教委が調査する月間の活用率が 2/6 現在、100%である。		
次年度への改善点		
ICT 機器の活用については、市教委が調査する月間の活用率について、100%を維持する。また、主体的・対話的で深い学びの推進については、研究授業でも実施し、研究を深める。		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況	
取組内容③【施策 5-2 健康教育・食育の推進、】 健康な生活習慣を確立し、事故を未然に防ぐ取組をより一層進める。 食育を推進し、朝食の摂取率を高める。 ----- 指標 食育通信を月 1 回発行する。	B	
年度目標の達成状況や取組の結果と分析		
1 月末現在、確実に食育通信を月 1 回発行している。学校教育アンケート「朝食を毎日食べていますか」の肯定的な回答をする生徒の割合が R3 90.0 、R4 84 と下がった。		

次年度への改善点
朝食を食べる意義を食育通信だけでなく、家庭科、全校集会等を通じて継続的に啓発していく。

大阪市立東生野中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標（中学校） <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度末の学校教育アンケート「先生は、ICTの活用をしている。」の肯定的な回答をする生徒の割合を95%にする。 R2 91.6 R3 94.5 R4 93 令和4年度末の年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする。2/6 現在 17人/31人(54.8%) 	B
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策6-1 ICTを活用した教育の推進、】 プロジェクターやタブレットを使用した、ICTを活用した授業を実施する。	B
指標 毎日の授業でICTを活用した授業を実施する。	
年度目標の達成状況や取組の結果と分析	
R4は93%と若干ではあるが、目標を達成することができなかった。目標設定が高いと思われる。	
次年度への改善点	
来年度も積極的にICT活用を進め、わかりやすい授業に努める。	
取組内容②【施策7-1 働き方改革の推進、】 計画的な年次有給休暇の取得を促し、ワーク・ライフ・バランスを推進する。	A
指標 学期ごとの年次有給休暇の取得を3～4日取得する。	
年度目標の達成状況や取組の結果と分析	
2/6 現在 17人/31人(54.8%)であり、目標を達成した。また、あと1.2日取得すれば、目標を達成する教職員が6人いるため、達成目標が74.2%になるとと思われる。しかし、「年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を50%以上にする」の目標自体が高いとも思われ、毎年の目標達成は難しいかもしれない。	
次年度への改善点	
計画的に取得していくよう、啓発していく。	